

■増進会自然環境保全研究活動助成基金の助成実績

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●1991年度		
・ミヤジマトンボの保護・増殖に関する調査研究	澤野十藏	広島虫の会
・キイロホソゴミムシの生息環境と生活史に関する研究	宮野伸也	千葉県立中央博物館
・リュウキュウアユの保全と復元に関する基礎研究	諸喜田茂充	琉球大学助教授
・ホクリクサンショウウオ等の保護に関する基礎的研究	南部久男	富山市科学文化センター
・小笠原諸島の固有陸産貝類の保全に関する研究	富山清升	東京都立大学研究生
・ネコギギの分布および生息環境調査	渡辺勝敏	東京水産大学大学院生
●1992年度		
・ハハジマメグロの繁殖生態に関する基礎的研究	上田恵介	立教大学助教授
・藤枝市藪田川・磐田市桶ヶ谷沼におけるカワバタモロコの生息環境保全と復元に関する研究	金川直幸	静岡県立静岡南高等学校教諭
・赤城山のヒメギフチョウの保護・増殖に関する基礎研究	富樫裕	群馬大学教授
・ヒヌマイトトンボの生息環境に関する調査研究	廣瀬誠	水戸市立緑岡小学校校長
・カワムラナベバタムシの棲息状況と生活史に関する研究	佐藤正孝	名古屋女子大学家政学部長
●1993年度		
・ヤンバルクイナの保護・増殖に関する基礎的研究	原戸鉄二郎	本部町立本部中学校教諭
・沖縄島北部地域に生息するイシカワガエル等の生息環境保全に関する基礎的研究	当山昌直	浦添高等学校教諭
・ヒヌマイトトンボの生息状況と分布に関する研究	宮武頼夫	大阪市立自然史博物館学芸課長
・ヤシャゲンゴロウの生活史と生息地保護に関する基礎的研究	佐々 治寛之	福井大学教育学部教授
●1994年度		
・イボイモリの保護・増殖に関する基礎的研究	田中聡	沖縄県立本部高等学校教諭
・大分県安岐町・安岐川におけるアカザの生息状況に関する調査研究	星野和夫	(株)マリーン・パレス(大分生態水族館)飼育部員
・シャープゲンゴロウモドキの生息状況に関する研究	湯浅純孝	富山県生活環境部自然保護課主幹
・ハチジョウキセルガイモドキの生息状況と生息環境に関する研究	黒住耐二	千葉県立中央博物館学芸研究員
●1995年度		
・ヤエヤマカグラコウモリの繁殖生態に関する基礎的研究	松村澄子	山口大学医療技術短期大学部助教授
・アリアケギバチの繁殖生態に関する基礎研究	溝入真治	長崎大学大学院海洋生産科学研究科大学院生
・ミズグモの生活史と生息環境に関する研究	吉田真	立命館大学理工学部助教授
・キリクチ(イワナ)の生息環境・保護に関する基礎的研究	名越誠	奈良女子大学教授
・カラカネイトトンボの生息環境と生態に関する研究	大澤尚之	高輪高等学校・中学高教諭

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●1996年度		
・ダイトウオオコウモリの保護に関わる調査研究	伊青勝	南大東村立南大東中学校教頭
・降河回遊型魚類類ヤマノカミとカマキリの繁殖、成育生態に関する研究	鬼倉徳雄	九州大学農学部附属水産実験所大学院生
・アカメの生息・環境実態調査及び人工増殖に関する基礎的研究	岩槻幸雄	宮崎大学農学部助教授
・シオアメンボの生息状況に関する研究	林正美	埼玉大学教育学部助教授
・隠岐島産ルーミスジミの生息状況に関する調査研究	淀江賢一郎	山陰むしの会事務局長
●1997年度		
・ウケクチウグイの繁殖生態、生活史の調査研究	酒井治己	水産大学校
・ヒョウモンモドキとその生息場所の保護に関する調査研究	石井実	大阪府立大学農学部
・小笠原諸島における固有トンボ類の生息状況と保全に関する研究	苅部治紀	神奈川県立生命の星・地球博物館
●1998年度		
・ミヤコタナゴの増殖に関する基礎的研究	秋山信彦	東海大学海洋学部水産学科講師
・オオイタサンショウウオの保護に関する基礎的研究	道越祐一	宮崎大学大学院大学院
・アベサンショウウオの生息状況に関する調査研究	松井正文	京都大学大学院人間・環境学研究科助教授
・静岡県におけるイドミズハゼ類の分布と生息環境調査	金川直幸	静岡県立静岡南高等学校教諭
・シナイモツゴの生息環境に関する研究	佐原雄二	弘前大学農学生命科学部教授
●1999年度		
・クビワコウモリの保護・増殖に関する調査研究	山本輝正	岐阜県立八百津高等学校教諭
・ヒヌマイトンボの生息地創設に関する基礎的研究	渡辺守	三重大学教育学部教授
・イバラトミヨ(雄物型)の生息する湧泉・水路に関する研究	神宮字寛	秋田県立大学短期大学部講師
・越冬期のトモエガモの個体数変動と採食環境に関する調査研究	桑原和之	千葉県立中央博物館学芸員
・クロイトカゲモドキ亜種の生息状況と生息環境に関する調査研究	太田英利	琉球大学熱帯生物圏研究センター助教授
●2000年度		
・希少猛禽類オガサワラノスリの生態に関する基礎研究	加藤夕佳	東京都立大学大学院理学研究科修士
・神奈川県で発見されたキイロホソゴミムシの生息状況と保護に関する研究	苅部治紀	神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員
・長野県におけるダルマガエル分布と生息環境に関する研究	澤島拓夫	岐阜大学大学院連合農学研究科生物資源科学専攻博士課程
・南西諸島におけるタウナギの分布および生息環境調査	松本清二	檜原市立畝傍中学校教諭
・イトヨの生活史における個体群間変異の生態学的研究	森誠一	岐阜経済大学生物学助教授

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	
●2001年度 ・ 神奈川県で発見されたイトアメンボの生息状況と保護に関する研究 ・ タガメの保護に関する生態調査 ・ 夕張・芦別岳のナキウサギの個体群の調査 ・ 琉球列島産サワガニ類の分類と生息環境に関する研究 ・ 八重山諸島西表島における絶滅のおそれのある汽水・淡水魚類の生息状況と保護に必要な対策に関する調査研究	守屋博文	相模原市立博物館学芸員	
	平井利明	京都大学総合人間学部非常勤講師	
	小島望	岩手大学大学院連合農学研究科博士課程	
	成瀬貫	琉球大学理工学研究科博士課程	
	鈴木寿之	兵庫県立尼崎北高等学校教諭	
	●2002年度 ・ ゴイシツバメシジミの生息状況と食餌植物の増殖に関する研究 ・ 山形県産イバラトミヨ雄物型の絶滅回避にむけた保護・増殖に関する調査研究 ・ 奄美大島産キバラヨシノボリの生態学的研究 ・ 日本産テナガエビ類の初期生活史に関する研究 ・ タガメの繁殖生態に関する基礎的研究	杉本美華	九州大学大学院比較社会文化研究科博士課程
		高橋洋	独立行政法人水産大学校助手
		笹邊幸藏	鹿児島大学大学院水産学研究科研究生
		伊藤茜	琉球大学理工学研究科博士前期課程
	●2003年度 ・ 九州におけるオオミノガの生息状況に関する研究 ・ 絶滅危惧種オガサワラヨシノボリの系統保存に関する研究 ・ 東京湾の希少ハゼ科魚類の分布及び生息環境調査 ・ 南部伊豆諸島において絶滅のおそれのある地域個体群と指定されたオカダトカゲの保全生態学的研究 ・ 長野県におけるホンドモモンガの生息状況および行動域の季節変化	一木良子	九州大学大学院農学研究院生物保護管理学講座研究補助員
横井謙一		近畿大学大学院農学研究科大学院生	
高麗行武		東京水産大学博士課程	
長谷川雅美		東邦大学理学部助教授	
市川哲生		岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程	
●2004年度 ・ 沖縄島産シオマネキ個体群の絶滅回避に必要な保全遺伝学的研究 ・ 絶滅危惧種ミヤマシジミの保全に関する基礎的研究～特にアリ類との共生関係から～ ・ 日本産チョウ類地域個体群保全のための生態学的特性および保全の実現可能性に関する基礎研究～ウススイロヒョウモンモドキおよびタイワンツバメシジミにおけるケーススタディ～ ・ 絶滅のおそれのある広島県産ダルマガエル(岡山種族)の保護に関する研究 ・ 農業用水路におけるスナヤツメの生息環境に関する研究	今井秀行	琉球大学理学部海洋自然科学科助手	
	渡邊通人	河口湖フィールドセンター自然共生研究室室長	
	中村康弘	日本チョウ類保全ネットワーク代表	
	内藤順一	広島県立安古市高等学校教諭	
	中川雅博	近畿大学農学部水産生物学研究室研究員	
●2005年度 ・ 絶滅危惧種ヤンバルテナゴコガネの保護・増殖に関する基礎研究 ・ 北海道豊似湖に生息する絶滅危惧種ニホンザリガニの保護に関する基礎的研究 ・ イワサキセダカヘビの食性と人里環境への適応に関する研究 ・ ライチョウの感染症制御に関する基礎獣医学的研究 ・ 個体識別したメダカの水田と水路の利用実態に関する研究	荒谷邦雄	九州大学大学院比較社会文化研究院助教授	
	中田和義	北海道大学大学院水産科学院博士研究員	
	細将貴	京都大学大学院理学研究科大学院生	
	山口剛士	岐阜大学応用生物科学部助教授	
	東淳樹	岩手大学農学部講師	

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2006年度		
・奄美大島における天然記念物イシカワガエルの保全生態学的研究	加賀谷隆	東京大学大学院農学生命科学研究科助手
・ウミガメ類(タイマイ・アオウミガメ)放流事業に関する適正な放流時期の解明	奥山隼一	京都大学情報学研究科博士後期課程
・シャープゲンゴロウモドキの生息地再生による保全に関する研究	西原昇吾	東京大学保全生態学研究室博士課程
・兵庫県におけるオオサンショウウオの生息適地の推定と保全計画への適用	田口勇輝	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士課程
・沖縄県における赤土等流出防止によるリュウキュウアユの生息環境の保全に関する研究	桜井国俊	沖縄大学学長
●2007年度		
・水田地帯に生息するメダカの生息環境の違いが成長へ与える影響について	渡部憲吾	岩手大学大学院農学研究科修士課程
・南西諸島における絶滅危惧水生甲虫の現状調査と保全策の研究	北野忠	東海大学教養学部人間環境学科講師
・北海道におけるカワシンジュガイの生息環境保全に関する研究	長坂晶子	北海道立林業試験場研究職員
・ハッタミズの生息現況調査及び生息環境保全に関する研究	伊藤雅道	横浜国立大学大学院環境情報研究院准教授
●2008年度		
・絶滅危惧固有種オヨギカタピロアメンボの個体群保護と増殖に関する研究	中尾史郎	京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授
・トウキョウトガリネズミの分布と食性に関わる基礎研究	南波興之	北海道大学環境科学院博士課程
・ダイトウオオコモリの育仔期における環境利用特性に関する研究	佐藤亜希子	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻博士前期課程
・コアジサシ卵のカラスによる捕食を防ぐための基礎的研究	早川雅晴	船橋市立舟橋高等学校教諭
・岐阜県におけるカスミサンショウウオの保護に関する研究	高木雅紀	岐阜県立岐阜高等学校教諭
・堅田内湖に生息する琵琶湖固有魚種ワタカの繁殖生態の解明	鈴木誉士	近畿大学農学部水産増殖学研究室研究員
●2009年度		
・長野県安曇野におけるオオルリシジミの保護と増殖に関する研究	江田慧子	信州大学大学院農学研究科(AFC昆虫生態学研究室所属)修士課程
・カワシンジュガイ類幼生の外来サケ科魚類への寄生実験	小林収	長野県長野西高等学校教諭
・イヌワシの保全を目指した採餌環境の創出計画の立案	石間妙子	新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程
・オオダイガハラサンショウウオ九州個体群およびベッコウサンショウウオの分類学的研究	西川完途	京都大学大学院人間・環境学研究科助教
・九州におけるイチモンジタナゴ・ワタカ・ハスの定着パターン～希少種・国内外来種の両面を持つ魚類についての研究～	大畑剛史	九州大学水産実験所博士前期課程
●2010年度		
・京都府におけるヒスマイトトンボの保全を目的とした人工増殖法に関する研究	高橋純一	京都産業大学総合生命科学部准教授
・シオカワヨコエビの保護・増殖に関する基礎的研究	富川光	広島大学大学院教育学研究科講師
・タナゴの生活史と環境利用に関する基礎的研究	満尾世志人	東京農工大学農学部特別研究員
・ヒナインドジョウによる河床間隙域の利用実態に関する研究	川西亮太	愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程
・ブッポウソウ(Eurystomus orientalis)の繁殖生活史に関する研究	水野聖子	岡山大学大学院自然科学研究科大学院生

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2011年度		
・ルイスハンミョウの保護及び生息環境保全のための研究	渡辺雅子	阿南工業高等専門学校環境研究部門 研究員
・イスマナガゴミムシの保全に関する基礎研究	笹川幸治	東京大学大学院総合文化研究科研究 員
・棚田復元ビオトープにおけるシャープゲンゴロウモド キの生態および生息地保全に関する研究	田中里奈	新潟大学大学院自然科学研究科大学 院前期課程
・小型コウモリ類の分布を規定する要因の解明ー過去 の土地利用の影響を把握するー	山中聡	北海道大学大学院農学研究院修士課 程
・沖縄島におけるマサゴハゼの保護に関する基礎的 研究	西丸裕敏	琉球大学理学部海洋自然科大学院生
●2012年度		
・外来捕食者によるオオヒョウタンゴミムシへの影響の 評価と対策	高木俊	東邦大学博士研究員
・ミヤコサワガニの繁殖生態および外来生物による被 食の実態の解明	藤田喜久	琉球大学大学教育センター非常勤講 師
・九州北部におけるニッポンバラタナゴの積極的保全・ 保護に向けた条件検討	川本朋慶	九州大学大学院農学研究院大学院生
・クロイトカゲモドキ沖縄島亜種の分類学的研究	栗田隆気	琉球大学理工学研究科博士後期課程
・生息環境の保全に向けた繁殖期のクマガラ生息調 査手法に関する研究	雲野明	(地独)北海道立総合研究機構森林研 究本部林業試験場研究主任
●2013年度		
・トカラ列島北部において絶滅のおそれのあるトカゲ属 集団の保全遺伝学的研究	栗田和紀	京都大学大学院理学研究科生物科学 専攻動物学教室動物系統学研究室大 岩手大学農学部学生
・希少猛禽類チュウヒの生息地保全に向けた農地利用 実態の解明	高橋佑亮	
・コガタカワシンジュガイ(<i>Margaritifera togakushiensis</i>) 個体群の系統地理と保全に関する	竹内基	岩手県立種市高等学校教諭
・遺伝子汚染を免れた琵琶湖産イケチョウガイ隔離個 体群の保護に関する基礎的研究	白井亮久	武蔵高等学校中学校生物科教員
●2014年度		
・PITタグを用いた小河川におけるギバチ (<i>Pseudobagrus tokiensis</i>)の利用環境の解明	森晃	宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団臨 時職員
・オコジョのハビタット選択と餌資源の地上営巣鳥類巢 に関する研究	森本元	山階鳥類研究所自然誌研究室支援研 究員
・奄美大島及び徳之島における絶滅危惧種アマミハ ナサキガエルの保全生態学的研究	小峰浩隆	東京農工大学農学府修士課程
・クボハゼとチクゼンハゼの生息環境保全に向けた甲 殻類の巣穴利用生態の解明	邊見由美	高知大学大学院教育学専攻大学院生
●2015年度		
・北限域のニホンイシガメの保護・増殖に関する研究	小賀野大一	千葉県検見川高等学校教諭
・福島潟で越冬するオオヒシクイの食性解明	向井喜果	新潟大学自然科学研究科博士課程
・メタゲノム解析を用いたアカハネバツタの食草および 生息環境の解明	内田圭	神戸大学大学院人間発達環境学研究 科研究員
・愛媛県におけるクロヒカゲモドキの生態および生息地 保全に関する研究	窪田聖一	愛蝶会会長
●2016年度		
・ミナミアカヒレタビラ個体群の保全のためのドブガイ類 増殖の試みおよび浮出稚魚の生息環境の保全に関 する研究	篤海 智佳	鳥取大学大学院連合農学研究科大学 院生
・琵琶湖に生息する在来型コイの採餌生態に関する 研究	吉田 誠	東京大学大気海洋研究所行動生態計 測分野博士課程
・トウキョウダルマガエル(<i>Rana porosa porosa</i>)の生息 場に影響を与える環境要因の解明と定量的評価に 関する研究	中島 直久	東京農工大学大学院連合農学研究科 博士後期課程
・トカラ列島におけるイイジマムシクイの分布と生態に 関する研究	関 伸一	国立研究開発法人森林総合研究所主 任研究員
・カワネズミの非侵襲的遺伝子解析法の確立とマイク ロサテライトマーカーの開発	関谷 知裕	信州大学大学院理工学工学系研究科大 学院生

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
<p>●2017年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カワシンジュガイの生息場劣化機構の解明:水域内外の人為的影響に着目して ・局所スケールにおけるニホンザリガニの保全遺伝学的研究 ・リュウキュウアユの在来・導入個体群における好適生息環境の解明 ・奄美大島におけるスミイロオヒキコウモリの生息実態 ・ツシマヤマネコにおけるマイクロサテライトマーカーの開発及び生態保全に向けた応用 	<p>石山 信雄 小泉 逸郎 河野 誉仁 浅利 裕伸 伊藤 英之</p>	<p>北海道大学農学研究院森林生態系管理学・学術研究員 北海道大学大学院地球環境科学研究科・准教授 山口大学大学院創成科学研究科・大学院生 帯広畜産大学・特任講師 京都大学野生動物研究センター・特任研究員</p>